

広報

九州



国民の森林・国有林

平成22年 7月10日

(2010年)

No 1662

九州森林管理局

〒860-0081

熊本市京町本丁2-7

IP電話 050-3160-6600(代表)

<http://www.kyusyu.kokuyurin.go.jp/>

第1回実践 公開・講座

27人が葉の構造を学ぶ

ルーペを使い熱心に観察



第1回実践公開・講座に参加した受講者及びスタッフのみなさん＝監物台樹木園「みどりの交流館」



石神指導普及課長の説明を聞く受講生の皆さん

「森林のさまざまな働きや大切さ」を一般の方々に理解していただくため、熊本城の一角にある監物台樹木園において、年6回の実践公開・講座を計画しています。

第1回の講座は、6月20日「葉の構造を学ぶ」と題して開催。27人の参加がありました。参加者は、同樹木園内の「みどりの交流館」で、石神智生指導普及課長から「森林における



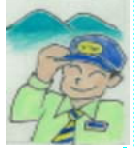
ルーペを使い熱心に葉の観察をする受講生

生物多様性の必要性について」説明を受けました。続いて、九州森林インストラクター会会長の安樂行雄さんから「植物の分類と専門用語」の説明が行われました。

当日は、あいにくの空模様でしたが、参加者は雨の中、4グループに分かれて園内を散策。ルーペを使って葉を観察したり、メモをとるなどインストラクターの説明に熱心に耳を傾けていました。

参加者から「説明がわかりやすく楽しくかった。雨の中を歩くのは久しぶりで童心に戻った。」など喜びの声が寄せられ、第1回講座を無事に終了しました。
(担当＝指導普及課)

自署の名山



鹿児島森林管理署
知覧森林事務所

森林官 泊 亶代高

今回は、鹿児島県を代表する山の一つ「開聞岳」を紹介します。「開聞岳」は鹿児島県の薩摩半島最南端に位置し、円錐形をした美しい山容から「薩摩富士」とも呼ばれています。

標高924mの火山で日本百

日本百名山の一つ「開聞岳」

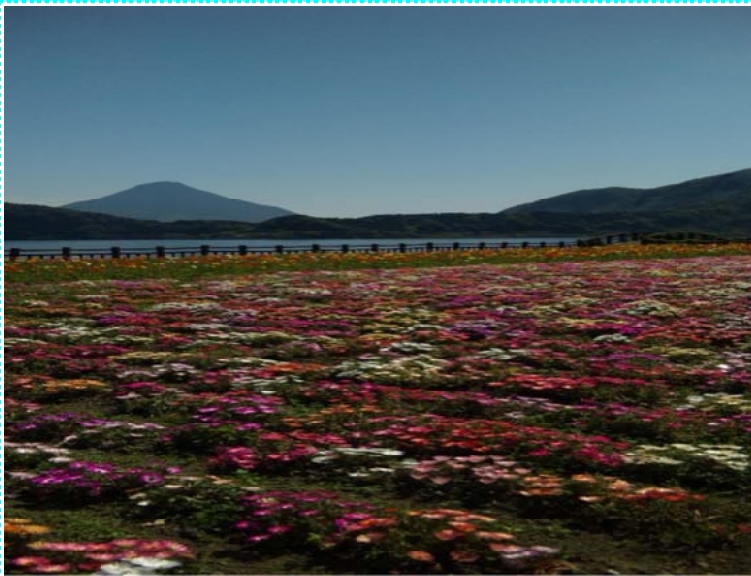
薩摩富士と呼ばれる美山

名山の一つに数えられ、山麓の北東半分は陸地に、南西半分は海に面しており、裾野では春には菜の花が咲き、秋にはハゼが紅葉し私たちの目を楽ませてくれます。また、全山照葉樹林ですので新緑の頃も見逃せません。

開聞岳は、霧島屋久国立公園内に所在し、北部は中腹より上

部が、また南部は麓から国有林となっており鹿児島森林管理署知覧森林事務所が管轄しています。林相はアラカシ、タブノキ、スタジイ等の常緑広葉樹の天然林が大半を占め、自然環境の維持及び風害等の気象害の防備を目的とした森林となっています。

周辺には、指宿温泉や池田湖などがあり、年間を通して観光



池田湖からの開聞岳遠望（上）

薩摩富士と呼ばれる＝開聞岳（下）



開聞岳山頂にある皇太子登山御立所

客で賑わい、天気の良い日の山頂からの眺めは360度の展望ができ、佐多岬や桜島そして霧島連山が見渡せ、まさに「絶景」の一言に尽きます。

開聞岳は、薩摩半島の最南端にあるため海上交通における大事な目印とされ、「かいもん」は、「海門」と称する人もいて、薩摩半島の秀峰、野間岳と金峰山と合わせて薩摩三峰と呼ばれています。

また、太平洋戦争時には知覧の特攻基地から出撃する戦闘機は開聞岳へ進路をとり、富士山にも似た山容に故郷や家族への別れを告げつつ南方へ向かったと言われ、「開聞岳」の偉大さを改めて知ったような気がします。

是非、一度開聞岳登山に「おじゃったもんせ。」

「遊々の森」協定締結

【佐賀森林管理署】佐賀市内の国有林で「夢みる子ども基金」と遊々の森の協定が締結され、「夢みる子ども基金の森」と名付けられました。現地は、標高約650m、面積5・6haでカシやタブ、ヤブツバキなど広葉樹の天然林です。式では大倉孝行署長から「広く森林環境教育に活用されることを望みます」と、また基金からは「この森林で心身ともに健康な子供たちを育てたい」とのあいさつがありました。この「遊々の森」で、多くの子供たちが森林教室や自然観察、沢遊びなどを通じて、心豊かな人格形成がなされることを願っています。



夢見る子ども基金の森と協定締結＝佐賀

お届け講座を開催

【宮崎北部森林管理署】日之影町立日之影小学校3年生を対象に「お届け講座」を行いました。



クイズに挑戦する児童ら＝宮崎北部

まず、教室で、「紙芝居」による「森林の働きと役割」や「山ではたらく人々の仕事」についての説明を行い、続いて「木の名前当てクイズ」では、全員が元気に手を挙げて問題に答えていました。さらに、校庭の「樹木名や特徴を覚える」コーナーでは、木の葉など、職員手作りの資料をヒントに名前を覚えようと真剣に取り組んでいました。質問コーナーでは日本の山で働く人はどのくらい、など数多くの質問が出されました。全員が積極的に参加し、「森林のほたらき」や「森林の大切」さな

ど実感した1日となったようです。

警察署長から感謝状

【大隅森林管理署】鹿屋森林事務所基幹作業職員奥村勝さんと新原恵さん2人に、鹿屋警察署長から感謝状が贈呈されました。両氏は、林野巡視中、林道脇の車中で意識がない老夫婦に気付き、警察署と消防署への要請を行い、人命救助に尽力されたことで表彰されたものです。

迅速な対応は、日頃からの安全に対する取り組みと緊急連絡訓練が活かされたものであり、家族の方からも深く感謝されました。



感謝状を手に新原さんと奥村さん＝大隅

対馬流域森林整備協定運営会議を開催

【長崎森林管理署】対馬振興局において、長崎県対馬振興局

虹の松原通信員となつて

私たちは虹の松原の東端にある「森林浴の森」の整備作業を行っています。

先日、懇親会の時に参加者の誕生日を知り驚きました。私(66歳)が一番若かった事です。虹の松原でボランティアとして自主的に継続的に活動している人たちのほとんどが60歳以上の高齢者です。

「ちょっと一言」

このような人たちの中には、長年、虹の松原を見てきた経験があり、昔の風景や写真、文学、歴史、野鳥、きのこ、植物、昆虫などについて貴重な情報を持っている人がいます。これらの情報には虹の松原の保全に役立つ情報が多く含まれています。



元佐賀大学教授

虹の松原の景観保全モデル林付近で「かって広葉樹を伐採したことがあるが、また元に戻ってしまった」と話す人

もいました。毎日散歩している人は松くい虫の被害木、ゴミの不法投棄などに良く気が付きます。一方、虹の松原では様々な作業が行われていますが、その目的を理解したい場合もあります。

特別名勝・虹の松原の様々

対馬市、対馬林業公社、対馬森林組合の関係者が出席し、第1回運営会議を開きました。会議は、去る3月25日に締結した協定書に基づき、対象となる国有林と国有林の施業団地内で、連携した間伐などを推進するため、具体的な実施計画について、情報の共有化と認識の統一を行いました。午後からは、林業公社の事業実行地に移動し、これまでの国有林における路網整備等の実態や国有林が取り組んでいる路網整備についての説明や質疑・情報交換などを行いました。今回の会議では、森林GISを活用した民・国共通の図面の早急な作成、林道・作業道等実行



運営会議を開催する関係機関＝長崎

明さん 管理署にスムーズに伝わり、逆に実施されている事業や行事の内容が住民に伝わるようなシステムが作れないだろうかと思えます。

田中 佐賀森林管理署としては情報の眼がたくさんでできることになり、また高齢者は「通信員」として情報を提供することによって虹の松原の保全に貢献しているという満足感が得られたいです。(佐賀県佐賀市在住)



勤続30年の感激を新たに

職員定期表彰式

永年勤続の功績称え

1級 32人と2級 11人 農林水産大臣表彰

6月24日メルパルク熊本において、平成22年度国有林野事業

職員定期表彰式を開催。1級精勤章（勤続30年）32人・2級精勤章（勤続20年）11人と、2級功績章1人を表彰しました。

式典には、1級精勤賞受賞者と配偶者をはじめ、来賓や局幹部など63人が出席。

はじめに、沖修司局長が「皆さまのこれまでの努力と苦労に敬意と感謝の意を表し、心からお祝い申し上げます」と式辞を述べたあと、受賞者を代表して西都児湯森林管理署の木林静夫技官に農林水産大臣の表彰状を

伝達しました。

その後、林野庁長官の祝辞を山元康則総務部長が代読。続いて全国林野関連労働組合九州地方本部の永山博美委員長から来賓祝辞をいただきました。

最後に、国有林野管理課の鹿田純吉技官が「この栄誉と本日の感激を糧に、国有林を国民の森林として未来へ引き継ぐため更に全力を傾けます」と受賞者を代表して謝辞を述べ、式典を終わりました。

氏名・所属は次のとおりです。

1級精勤章（勤続30年）

受賞者を代表して謝辞を述べる
国有林野管理課の鹿田技官



- ◇定員内職員◇・・・32人
- 宮崎健次（職員厚生課）
- 久木田一光（職員厚生課）
- 廣石 功（計画課）
- 東 誠也（国有林野管理課）
- 鹿田純吉（国有林野管理課）
- 内村圭一（森林整備課）
- 日田仁志（販売課）
- 一口哲美（治山課）
- 宮本和美（森林技術センター）
- 江口頼雄（佐賀署）
- 井 孝次（長崎署）
- 深田孝治（長崎署）
- 甲斐誠一（熊本署）
- 堂園浩睦（熊本南部署）
- 森 津積（熊本南部署）
- 田代美喜男（大分西部署）
- 長江恭博（大分署）
- 上村徳光（大分署）
- 久保田利郎（宮崎北部署）

中川邦男（宮崎北部署）
 木林静夫（西都児湯署）
 吉川慶一（宮崎署）
 大岩根浩（都城支署）
 大寺義宏（都城支署）
 日高瑞記（宮崎南部署）
 春山 司（宮崎南部署）
 竹永泰雄（北薩署）
 久保田修（鹿児島署）
 草野秀雄（鹿児島署）
 針持秀一（大隅署）
 岩本清文（屋久島署）
 福山親幸（屋久島署）

2級功績章（勤続20年）

◇定員内職員◇・・・11人
 深田隼人（職員厚生課）
 園田清隆（計画課）
 武藤和子（佐賀署）
 藤本順也（佐賀署）
 小谷 豊（熊本南部署）
 丸橋勝寿（熊本南部署）
 石田義幸（大分署）
 池水寛治（宮崎北部署）
 藏原 剛（宮崎北部署）
 加藤省三（宮崎署）
 白内慎哉（鹿児島署）

2級功績章（森林管理局長賞）

古庄誠司（治山課）
 2級功績章受賞の治山課の古庄誠司技官には、農林水産大臣からの優良職員表彰に続き、九州

州森林管理局長表彰が沖修司局長から授与されました。



2級功績章受賞の古庄さん



永田 景章さん



私が国有林モニター制度に応募するきっかけとなったのは、昔、仕事の関係で、2度屋久島と関わりを持ったことです。昭和29年7月仕事の関係で下屋久営林署へ赴く機会がありま



チエンズ

日頃、我々の仕事は法律や通達をベースとして進められていたが当事者からすれば当然常識なことであっても、全く関係ない別の世界の一般人から見ればまったく不可解な非常識に写っていることもあるだろう。情報に囲まれた激動の世の中

だからこそ常に頭を柔らかく、物事に対しては多方向から見、おかしい常識であれば変えていく姿勢が大事だと思っている。最近読んだコラムの中で、作

「誰かが『そんなことは出来ない』って言うけれど、やって

家「養老孟司」の『ことば』を紹介したい。

「誰かが『そんなことは出来ない』って言うけれど、やって

えない。昔は、常識から一歩出たことを「勇氣」と言ったのだ。」

（販売課長 工藤 孝）

みなければ分からない。そう言うとき、今度は「そんな無責任な」と言われる。

みんな自分の常識が絶対だと思っていて、そこから一歩出たことは「無責任」だと言おう。そういう人は、自分の予想を超える事が起こらないと何も覚

屋久島を思い出して

当時の下屋久営林署長、工藤六助さんの案内で、小杉谷への優逸の交通手段であったトロツコに乗り小杉谷へ登り、営林署の宿舎に1泊しました。

そのころ小杉谷には小学校がありません、学校ではちようど夏祭りがあり、祭りに参加したことや、宿舎の風呂が電気風呂で入浴するのが恐ろしくて、ためらったことを思い出します。

その後、昭和44年4月に、今度は転勤で屋久島区検察庁勤務となることになりました。着任あいさつのため当時の上屋久営林署長と下屋久営林署長さんの

とこへ行ったところ、この島は人が2万人、猿が2万匹、鹿が2万頭で、1年365日雨が降る島だ」と教えてもらいました。

屋久島勤務の在任中は両署長さんをはじめ署員の方々には大変お世話になったことが思い出として残っています。

現在、私は仕事柄登記事務を取り扱っていますが、遺産相続の件で山林の相続についても良く相談があります。最近若いう年代になるにつれて山林の相続を嫌がる傾向にあります。確か

に現在の社会情勢から見ると山林の価値は、若い人達にはあまり興味がないかもしれません。ある時、以前に山林相続の件で相談があったお客さんから、あの時、あなたの話を聞いて継続した山林が今は大変役に立っているとのうれし話を聞きました。

私は国有林モニターになってから、モニター会議や現地視察などに参加してきました。頂いた資料をおしてみると、その中で、森林があって国土の安全が保たれていること、森林の持つ重要性をあらためて認識しているところ

（鹿児島県薩摩川内市在住）

幼稚園で森林教室

【宮崎南部森林管理署】日南

幼稚園において、幼稚園から保育園児90人を対象に、紙芝居「森林からのおくりもの」とキーホルダー「モックン」作成の二つのプログラムで森林教室を行いました。紙芝居では、動物たちの食べ物、きれいな空気や水が森林からのおくりものといった話に、園児たちは、目を輝かせて聞いていました。また、「モックン」には動眼を付け、口を書いたり、小さな歓声が上がっていました。当森林教室は、木や緑と触れ合う機会や、木や緑の大切さを教える目的で幼稚園からの要請で行ったもの。今後も、緑の大切さを学んでもらえるよう取り組んでいくこととしていきます。



紙芝居を楽しむ園児ら＝宮崎南部

ヤクシカ被害対策の取組

係る防鹿柵と試行捕獲について、植生保護柵の計画や

屋久島では、ヤクシカの生息頭数が増加し、下層植生の食害に伴い希少種の消滅などが懸念されていることから、森林の多様性の保全や国土保全などの観点から、民有林と連携を図りながら総合的な対策を推進することとしています。

今回の現地検討会では、局と森林管理署との間で森林整備に



海岸に近いところに生える落葉小高木と解説してありますが、菊地水源（深葉）や鞍岳等、標高の高いところでも観察できます。

名前の通り葉を揉むと匂いがします。自然観察で子供達にこの匂いを嗅がせてどんな匂いになりますかと聞いても「くさい」と答えてくれません。強引に「臭いでしょ」と聞いて名前由来を話しています。

葉は対生、卵形・広卵形で葉の周りの上半分に粗鋸歯があり老木になると全縁に変化しますこの特徴はヒイラギ、カクレミ

くくり罠による有害鳥獣捕獲の取組みなどについて検討を行いました。また、屋久島町など関係機関と連携した「愛子プロジェクト（仮称）」の取組みについて意見交換を実施。効果的・効果的なシカ被害対策への取組みを推進することとしました。

（担当＝指導普及課）



現地にて検討を行う関係機関のみなさん＝屋久島

34

ハマクサギ（クマツヅラ科）

ノ等と同じです。葉の基部は急に狭くなり葉柄に「垂下」している特徴もあります。花は黄色の筒状で先は4裂の唇形となっています。

「ハマ」の付く植物名は沢山ありますが、標高500mを超ええる場所で「ハマ」が付く樹木はこれだけなので覚えやすい。老木になると縦筋のあった薄茶色の幹肌が一変して白くなることもあるので見間違ふこともある。樹木園には中央の東側に胸高直径20cm、高さ1.6mで幹が切られて、枝を四方に伸ばしているハマクサギを観察で



きます。日陰のため花は咲かないと思われま



「今日は、刺身バイ！」と電話を入れると。「ヤッター！」と帰りを楽しみにしてくれる家族。これも大海を満喫できる大きな要因です▼水上バイクや水上スキーなどのマリンスポーツを楽しむ若者も多く目にします。海の楽しみ方も色々です。海風を受け、シャパシャパと波を切って進むウィンドサーフィンに霧中だった当時を思い出しました▼今、マダコが好調の様子。早速、出かけることにします（造）